

目次

毒 盃

1

編集について 290
【解題】町田久次

291

毒
盃

去る年の十二月であつた。露国ペトログラード××街の一隅、石造や煉瓦造りの、高い家並が、曇つた灰色の空に、単調な色彩の雪や氷柱で飾られた軒並の中ほどに、懐かしい日本文字で、御手軽料理と筆太に印された、看板が掲げられている。

この荒涼たる露国の雪の市街に、この看板を見たならばあまり意外なのに驚くであろう。けれども子細をただせば、敢て驚くほどのことではない。先頃逝去した米国の紳商モルガンがかつて我が京都の芸者お雪を落籍させた事實は、いまだ我々の耳の底に新事件の余韻となつて残っている。と共に少し以前に遡つて、横浜の名妓芳江が露国の豪商ロスレッチに落籍されて彼の妾となり、露国に渡航した事實もまた臚気ながら、我々の記憶を惹き起すことが出来るであろう。彼の女はその後ロスレッチの助力によつて、日本亭という料理屋をここに開業してもっぱら在露同胞間に持て囃されておつたのである。

今しもこの夕暮近い市街の家並は一としきり、雪を交えた、朔風に襲われて、吹雪の中に埋れたかと思わ

れる位であつたが再び低い灰暗色の空を明かに現わした時は、もう夜の帷は地平線の彼方より迫つてきておつた。

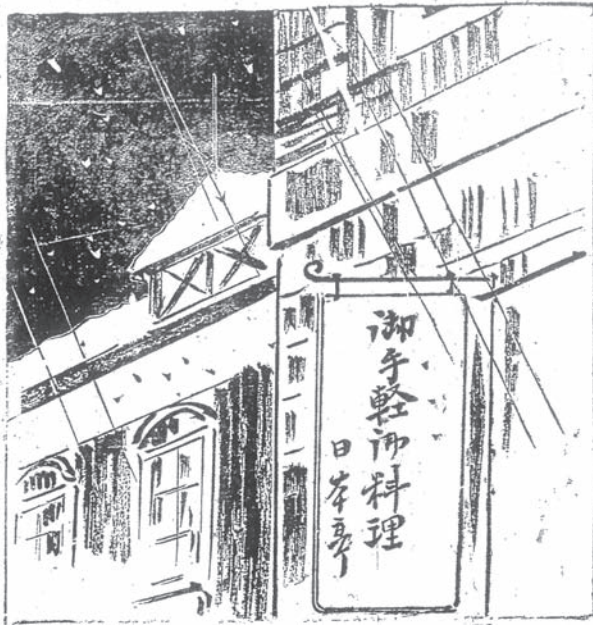
白くぼかされて、吹きつけられた雪の家々が死んだような、淋しみを以て静まり歸つて、家並の窓々が深く閉じられて人通りは全く杜絶た。この沈黙の市街は正に起らんとする何者かに威嚇されて呼び起される時の悲しさを以て覆われているにかかわらず日本亭の奥まった一室は陽気なお客を以て賑わされていた。お客は領事館に出勤めている、村瀬と呼ぶ五分刈頭で口髯を短かく刈つた、円頭の小肥りに肥つた三十二三の男。と今一人はこれも村瀬とは同僚で先年本国の商業学校を卒業して首尾よく外交官補の椅子を獲た二十五六の貴公子然とした、好男子平野という男である。二人は円テーブルの前に、差向いて頻りに日本酒の杯を挙げておる。傍に侍つて二人の話に合槌を取つて興を添えている女は、お磯と呼ぶ日本亭の下女とも酌婦とも抱芸者とも見れば見らるる輩の一人である。

「お磯君、まあ一杯やり給え」

と平野が杯をお磯に与える。

「お酌は我輩がする」

と村瀬が爛徳利をとる。



「あら、どうしましよ、殿方にお酌などをして戴いては、恐いような気がして戴けませんわ」
「男に酌されて恐い年でもあるまい」
と注いでやる。
「おい村瀬、それでも人によっては飲めない事もないという謎だぜ」

「お戯談でしょう、そんな人がある位ならこんな寒いロシア三界まで来るのですか。今頃は隅田の奥の陀び住居で可愛い人と四畳半に差向いで雪見の酒でも戴いておりますわ」

「へエ、そんな事もあつたというんだねえ」

と村瀬はわざと真面目くさる。

「村瀬さんは何故、そうお口が悪るいんでしょう。お国にいらつしやつた時によほどあの方に仕込まれたと見えますわねえ」

「お前がその人に仕込まれたというのかハハハハハ、道理で口が悪るい」
としらをきる。

「エツ、憎らしいツ、エエ、エエ、仕込まれましたとも、ウンと可愛がられて、いとしがられて、他の男に指もささせないといっていましたわ。あたりまえじゃありませんか、女と生れて二十八になる今日まで、男の二人や三人出来なきや、世の中の女の顔が立ちませんわ。そうじゃありませんか、ねえ、平野さん」

眼尻の下つた、しゃくつた顔に愛嬌の笑を浮べていった。

「オヤオヤ逆襲ときたね。平野、すっかりせんとその外交的凄腕で味方に引込まれるぞツ」

佐藤 紅緑（さとう・こうろく）

明治から大正、昭和にかけて活躍した小説家、劇作家、俳人。明治7年（1874）青森県弘前市生まれ、本名治六。戯曲「侠艶録」や小説「行火」で脚光を浴び、「あゝ玉杯に花うけて」「大盗伝」「鳩の家」など数々の代表作を残す。東奥日報、河北新報、報知新聞など多くの新聞とも関わった。詩人サトウハチロー、作家佐藤愛子の父。昭和24年（1949）74歳で死没した。

町田 久次（まちだ・きゅうじ）

新聞史研究家、ノンフィクション・ライター。昭和23年（1948）福島県会津美里町生まれ、新潟大学人文学部卒業。昭和46年（1971）福島民友新聞社に入社し、編集・報道記者、経理局長、取締役など歴任。平成25年（2013）福島県文学賞正賞、同準賞など受賞。著作に「吾等は善き日本人たらん」「新聞疎開」（いずれも歴史春秋社刊）。福島県会津若松市在住。

毒 盃

2017年1月10日 初版第1刷印刷

2017年1月25日 初版第1刷発行

著 者 佐藤 紅緑

校訂／解題 町田 久次

発行人 森下 紀夫

発行所 論創社

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

tel. 03 (3264) 5254 fax. 03 (3264) 5232 web. <http://www.ronso.co.jp/>

振替口座 00160-1-155266

装幀／宗利淳一＋田中奈緒子

印刷・製本／中央精版印刷 組版／フレックスアート

ISBN978-4-8460-1582-4 ©2017 printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。